

健康アドバイス

No.245



立川綜合病院 呼吸器センター長
日本呼吸器外科学会 評議員

岸本晃司

肺がんの治療

標準治療

標準治療や最先端治療という言葉が聞かれたことがあると思います。これは具体的にどういった治療方法であるかご存知でしょうか？言葉のイメージからすると先進医療の方がより優れた治療方法のように感じられるかもしれませんが、標準治療というのはさまざまな臨床試験に基づいた観点から、現時点で最良の治療であると示されたものです。一方、最先端の治療方法というのは現在開発中の治療方法で、効果や副作用についてはまだ評価の定まっていない治療方法です。従って、特に理由がなければ標準治療を選択した方が賢明です。

肺がんの標準治療

ステージⅡまでの非小細胞肺がんの標準治療は手術です。一般的には、がんからできるだけ離して切除した方が、再発率が少ないことが分かっています。ただ、切除範囲を広げるとその分機能が落ちてしま

います。肺切除であればちょっとした動作で息切れをするようになり、心臓に負担がかかってしまうこともあります。従って、手術ではがんが再発しない必要最小限の切除にとどめる必要があります。

肺がんの標準手術

では、肺がんで最良の治療であるとされる手術、つまり標準手術とはどのようなものでしょうか。このお話をする前に、まずは肺の構造について理解をしておきましょう。皆さんが吸い込んでいる空気は、気管と、そしてそれが二股に分かれた気管支の中を通って左右の肺へ行きます。右の気管支はさらに三つに枝分かれしてそれぞれ上葉・中葉・下葉という名前の付いた肺(肺葉といえます)に空気を送り込みます。左は二つに枝分かれして上葉・下葉に空気を送り込みます。

肺がんの標準手術とは、がんのある肺葉を切除することです。例えば右の上葉に肺がんがある場合は右上葉切除が標準手術となります(図1)。ただし、がんが小さくて肺

の外側にあるなどの一定の条件を満たせば、もっと小さく切除しても生存率は劣らないことを示す臨床試験結果が、ごく最近、出て来ました。追試による評価は必要となりますが、初期の小さな肺がんではこれが標準手術となる可能性があります。

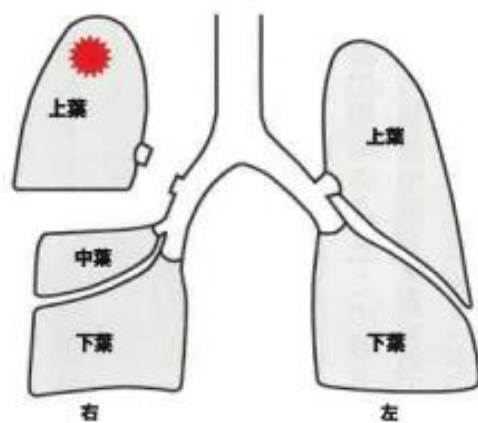


図1 右上葉切除